

【消化器科】

1. 研修指導責任者 阿部 径和
指導医 阿部 径和、田中 耕太郎 平井 太

2. 定員 2名まで

3. 基本的目標

内科における基本的技術と態度を培うと同時に、消化器疾患における基本的診療・技術を習得する。

4. 具体的目標

- (1) 消化器疾患を中心とした基本的身体診察法を実施し、記載できる。
- (2) 消化器疾患を中心とした主要症候を理解する。
(食欲不振、悪心と嘔吐、おくび、げっぷ、嚥下困難、むねやけ、腹痛、腹部膨満、吐血と下血、下痢と便秘、鼓腸、黄疸、腹水、腹部膨満)
- (3) 一般尿検査、便検査を理解する。
- (4) 血液・生化学検査を理解し、その結果を説明できる。
- (5) 免疫学的検査を理解し、その結果を説明できる。
- (6) 腫瘍マーカーを理解し、その結果を説明できる。
- (7) 消化管X線検査(食道、胃、十二指腸)の検査を理解する。
- (8) X線CT検査を理解する。
- (9) 腹部超音波検査を理解し、施行できる。
- (10) 基本的治療手技(一般手技に加え、胃チューブ、浣腸、腹腔穿刺、経管栄養)を理解し、施行・管理できる。
- (11) 輸液(高カロリー輸液を含む)の基本を理解し、実施できる。
- (12) 輸血(成分輸血を含む)の基本を理解し、実施できる。
- (13) 薬物療法の基本を理解し、消化器の薬物療法を施行できる。
(口腔用薬、消化性潰瘍薬、健胃消化薬、緩下薬、浣腸、止痢薬、整腸薬、鎮痙、鎮痛薬、肝臓薬、利胆薬、胆石溶解薬、蛋白分解酵素阻害剤、抗生剤)

5. 経験した方がよい主要症候・疾患

- (1) 全身倦怠感
- (2) 不眠
- (3) 体重増加・減少

- (4) 浮腫、リンパ節腫脹
- (5) 黄疸
- (6) 発熱
- (7) 嘔気、嘔吐
- (8) 胸やけ、嚥下困難
- (9) 腹痛
- (10) 便通異常
- (11) 食道・胃・十二指腸疾患 : 逆流性食道炎、食道静脈瘤、急性・慢性胃炎、
胃・十二指腸潰瘍、胃癌
- (12) 腸疾患 : 虫垂炎、大腸癌、腸閉塞、痔核・痔瘻、炎症性腸疾患
- (13) 肝・胆道疾患 : 急性・慢性肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害、薬物性肝炎
肝癌、胆石・胆嚢炎、胆管炎
- (14) 膵疾患 : 急性・慢性膵炎
- (15) 腹腔・腹壁疾患 : 腹膜炎、急性腹症

6. 週間スケジュール

月曜日	腹部超音波検査、上部・下部内視鏡検査
火曜日	消化管レントゲン検査、下部内視鏡検査、ERCP、消化器内 視鏡読影会消化器造影CT
水曜日	腹部超音波検査、肝細胞癌治療、腹部血管撮影
木曜日	上部消化管内視鏡、腹部血管撮影、CT読影会
金曜日	上部・下部内視鏡検査、腹部超音波検査、ERCP